

RALLY GUIDE 1



Rally 21-23 May 2010 Hokkaido

FIA ASIA-PACIFIC RALLY CHAMPIONSHIP
JAF JAPAN RALLY CHAMPIONSHIP



To The Possible Future
PLANNING FOR CO., LTD.

株式会社 プランニング.フォー

所在地: 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9
ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com
Eメール: info@rally-hokkaido.com
Tel: +81-(0)11-864-1101 Fax: +81-(0)11-864-1182

この書類は案内書として作成されており、規則的な効力はありません。特別規則書、公式通知にて規定された場合はそちらに従ってください。規則については、FIA国際モータースポーツ競技規則 (FIA International Sporting Code)、FIA地域ラリー選手権規定 (FIA Resonal Rally Championship Regulations)、JAF国内競技規則 (JAF National Sporting Regulations)、ラリー北海道の特別規則書および公式通知に従ってください。

警告

選手、チーム、メディア、及び関係者全てはFIA一般規定2.2.4に従って日本の交通法規を遵守しなければなりません。法令遵守の原則に則り、大会主催者は以下について警告します。

- 「FIA一般規定第11章」及び「JAFラリー競技会組織に関する規定第10条」に則り、交通違反者に対しては厳格に罰則を適用します。
- 違反者の来年以降のエントリーを受け付けない場合があります。
- 大会期間中、交通違反が発生した場合、大会の継続や今後の開催に重大な影響を与える可能性があります。

以上

海外からお越しになる方へ

日本には国際基準とは異なる交通規則が存在します。しかしそれらは厳密に遵守されなくてはなりません。特に下記には注意してください。

全体的に道路標識は国際基準と合致していますが、「止まれ」のサインだけは異なります。形状は逆三角形です(海外の「Give Way」標識に似ています)。

すべての車両は踏み切りで必ず停止しなくてはならず、通過する前に電車が来ていないことを確認しなければなりません。

特に標識で規制されていない場合は、町の中心部は時速40km以内で、その他の地域は時速60km以内で走行しなくてはなりません。高速道路の最高速度は、状況にもよりますが、時速70kmです。

また、海外からお越しになる方は、一般道を運転するのに日本で有効な免許証、および国際免許証について理解してなくてはなりません。国際免許証は「1949年ジュネーブ交通条約」下で発行されたものでなければならず、国際免許証の表紙に「1949年ジュネーブ交通条約」と明記されています。ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、台湾の免許証所持者はJAFで免許証の翻訳が必要になります。その翻訳したものと免許証を同時に所持することでジュネーブ条約下で発行された国際免許証と同じ効力を持ちます。以上の免許証以外を所持している方は「外免切替」が必要になります。

外面切替の詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください:

<http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

詳細については第7章をご覧ください。

目次

1 はじめに／歓迎の挨拶	4	12.2 電話	21
1.1 大会組織委員長よりご挨拶	4	12.3 運転及び運転免許証	22
1.2 大会概要	5	12.4 銀行/クレジットカード/現金	22
1.3 十勝地方について	5	12.5 帯広へのアクセス	22
2 オーガナイザーの連絡先	7	12.6 緊急時のサービス	23
2.1 大会競技事務局	7	12.7 ビジネスディレクター	24
2.2 ラリーHQ	7	付則	29
2.3 メディア事務局	7	付則A: アイテナリー	30
2.4 主要競技役員	8	A.1 アイテナリー	30
3 プログラム	9	A.2 過去のアイテナリーとの比較	32
3.1 大会開始前のスケジュール	9	A.3 レックススケジュール	33
3.2 大会期間中のスケジュール	9	付則B: マップ	34
4 エントリーについて	11	B.1 ルートマップ- Day1及び2	34
4.1 FIAタイトル	11	B.2 帯広市及び幕別町地図	35
4.2 エントリー受理基準	11	付則 C: 図面とレイアウト	36
4.3 エントリーフィー	11	C.1 北愛国サービスパークレイアウト	36
4.4 パスおよび書類の追加注文	11	C.2 陸別リモートサービスレイアウト	37
5 サービスパーク	12	付則 D: 各種フォーム	38
5.1 サービスパークについて	12	D.1 宿泊予約申込書	38
5.2 サービスパーク内の設備	12	D.2 エントリーブックレット	39
6 無線	12	D.3 車両レンタル予約申込書	43
6.1 申請の手順	12	D.4 ヘリコプター登録申込書	45
7 車両および部品の日本への持ち込み	13	D.5 無線局緒元調書	46
7.1 日本の法律／通関手続き	13		
7.2 車両に関わる規制(運転免許証含む)	13		
7.3 日本国内を運転する際の条件	14		
7.4 交通法規の違い	15		
8 ヘリコプター	17		
8.1 登録申請手続き	17		
8.2 国内ヘリコプター会社	17		
9 ホスピタリティー	17		
9.1 ホスピタリティー担当者	17		
10 ホテル／宿泊施設	18		
10.1 予約に関するお問合せ	18		
11 メディア	19		
11.1 メディアの連絡先と担当者	19		
11.2 メディア申請の手順と締切り	19		
12 総合案内	20		
12.1 概要	20		

1 はじめに～歓迎のご挨拶／大会概要

1.1 大会組織委員長よりご挨拶

大会組織委員長よりご挨拶

2010年のFIAアジア・パシフィックラリー選手権第2戦および全日本ラリー選手権第3戦として「ラリー北海道」を今年も北海道・十勝で開催いたします。

ラリー北海道は2002年の初開催から9回目を数え、十勝地域に定着した国際ラリー大会となりました。前回では地域の祭典としてのコンセプトを進化させた「北海道とかち元気博覧会」を併催し、環境の時代に即した『ECOラン』も初めて実施するなど新しい取り組みに努めたところ、北海道庁が発表した「経済波及効果」では十勝圏においての総支出額が3億5700万円と算出されるまでの規模に至りました。本年もさらに地域の皆様と共に一層の大会成功をめざしています。



HQとサービスパークは、昨年と同じ幕別町のホテルグランビリオと帯広市の北愛国交流広場に設置いたします。サービスパークは昨年、北海道とかち元気博覧会が併催されて過去最大の来場者で賑わいましたが、今年もボリュームアップして継続開催される予定です。

競技はDay1Aの金曜日夕方に、セレモニアルスタートを北愛国サービスパークで実施し、続いてSS1を隣接する帯広特設コースで行います。Day1Bの土曜日は、例年同様に陸別サーキットを中心としたコースレイアウトで、昨年に大変好評であったリモートサービスを再び行います。ラリーカーは夕方に帯広へ戻り、OBIHIRO SSがその日の最終競技になります。Day2日曜日は音更、足寄、本別のエリアがメインになります。特に本年は初めて本別のコースがギャラリーステージとなります。また、足寄でもPAWSE KAMUYと呼んでいたコースをASHOROに改称し、地域の皆様の運営による観戦エリアが復活いたします。同様にSINOTCAKIから改称したOTOFUKE SSもギャラリーステージとして走行し、最終のOBIHIRO SSで優勝者が決まります。

「ラリー北海道」はモータースポーツと地域フェスティバルのコラボレーションイベントとして着実な成長を続けています。参加チームとラリーファン、そして地域の皆様の全てが楽しめる「ラリー北海道」に、どうぞご期待下さい。

田畑邦博

ラリー北海道大会組織委員長
田畑 邦博

1.2 大会概要 (ラリー北海道概史)

日本でFIAアジア・パシフィックラリー選手権が開催されるのは、初開催の2002年から今年で9回目になります。2003年には世界ラリー選手権(WRC)候補イベントとして、また2004年にはラリー・ジャパンと併催して開催されました。2005年よりラリー・ジャパンから再び独立してラリー北海道の名称となり、JAF全日本ラリー選手権を併催する国内2つ目の国際ラリー大会として開催を続けています。



今年は初めて5月の開催となります。北海道十勝地方の5月下旬は早春の気候です。従来の7月中旬に比べると気温は上がりませんが、平均の降水量は少ない季節です。また、日照時間は午前4時の日の出からおよそ15時間あります。

アイテナリーは、十勝地方のおなじみの大地を網羅しています。今年はギャラリーステージが増え、RIKUBETSU、OBIHIRO、HONBETSU、OTOFUKE、ASHOROが盛り込まれています。

ラリーHQ及びメディアセンターは、昨年同様の北海道中川郡幕別町の十勝幕別温泉グランヴィリオホテルに設置しますサービスパークは今年も世界ラリー選手権(WRC)ラリー・ジャパンで使用されていた帯広市の北愛国交流広場に設定します。また、昨年同様、Day1で使用するRIKUBETSUではリモートサービスを行います。

この大会歴代勝者は以下の通りです：

2009 Winner					
D river	Cody CROCKER (AUS)				
C o-driver	Ben ATKINSON (AUS)				
E ntrant	Motor Image Rally Team (SGP)				
V ehicle	Subaru Impreza WRX STi				

Year	Entrant	Driver	Co-driver	Vehicle	Gp/Cl
2008	Subaru Team Arai (J)	Toshihiro ARAI (J)	Glenn MACNEALL (NZ)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2007	Motor Image Rally Team (SGP)	Cody CROCKER (AUS)	Ben ATKINSON (AUS)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2006	Subaru Rally Team Japan (J)	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2005	MRF Tyres (IND)	Katsu TAGUCHI (J)	Mark STACEY (AUS)	Mitsubishi Lancer Evo VIII	N4
2004	Team Proton Pert Malaysia (MAL)	Karamjit SINGH (MAL)	Allen OH (MAL)	Proton PERT	N4
2003	Subaru Production Rally Team (J)	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Impreza	N4
2002	Subaru Australia (AUS)	Possum BOURNE (NZ)	Mark STACEY (AUS)	Subaru Impreza	A8
2001	Ishida M. (J)	Masashi ISHIDA (J)	Sayuri ISHIDA (J)	Mitsubishi Lancer Evo VII	N4

1.3 十勝地方について

北海道は日本列島の最北に位置し、人口は約560万人です。人口密度は67人/km²であり、全国平均の342人/km²や東京都の5629人/km²と比べて、あまり人口が密な地域ではありません。また、多くの森林、山々、農業

地帯が広がる豊かな地域です。

北海道は、朝鮮半島の北方、ローマや英国南部とほぼ同緯度に位置しています。しかし、南太平洋海流の影響を受けるため、冬には長期にわたり寒さが厳しくなります。日本は夏に台風の影響を多く受けますが、北海道はもっともその影響を受けることが少ない地域です。

十勝の田園風景は、アメリカ合衆国北部の州に似通ったところがあり、また、ラリー北海道のスペシャルステージをウェールズのステージに例える人々もいます。土地は比較的起伏が少なく、多くは農業に使用されています。山脈が南北に走り、北海道を東と西に分けています。北海道の中央部から西にも山脈があり、これら二つの山脈により、十勝地方の天候は比較的安定しています。ラリーで使用するコースの多くは十勝平野にあり、そのうちの何本かは山脈の麓にあります。山地ではありません。

北海道は、比較的新しい地域で、約200年前に本州から渡ってきた人により開拓されました。開拓以前は、この地区にはシベリアからカムチャッカ半島を下って来たアイヌと呼ばれる先住民のみが居住していました。その影響で北海道の多くの地名の語源はアイヌ語であり、ラリー北海道のステージ名の一部はアイヌ語を基に決定されました。

サービスパークが設置される帯広市は人口約17万人の都市です。帯広市は十勝地方の商業中心都市であり、町並みは近代的で、ホテルやレストランも数多くあります。道路は整備され、日本語・英語で書かれた標識がついています。中心地点からの方角と距離によって道路に名称がつけられており、例えば人気のあるレストラン「十勝ビール」の住所は、西1条南9丁目6となっています。また、HQが設置される幕別町は、帯広市の東隣に位置した人口約2万7千人の小都市です。

十勝の人々はモータースポーツが大好きです。この地域では2001年から国際ラリーが開催され、2004年から2007年まで4年間、WRCが開催されました。そのため地元の人々は日本で最もラリーを理解し、支援、協力する人々でもあります。

帯広市及び幕別町の地図は付則Bでご覧ください。

2 オーガナイザーの連絡先

2.1 大会事務局, 電子メール& ウェブサイト

ラリー北海道大会事務局 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 プランニング.フォー内	Fax: Tel: Eメール: ウェブサイト:	011-864-1182 011-864-1101 info@rally-hokkaido.com www.rally-hokkaido.com
---	----------------------------------	---

2.2 ラリーHQ

ラリーHQとメディアセンターは中川郡幕別町の十勝幕別温泉グランヴィリオホテル内に設置され、メインサービスパークは愛国町の北愛国交流広場に、リモートサービスエリアは陸別町の陸別サーキットに隣接されます。グランヴィリオホテルは過去にもラリー北海道のHQとして使用され、北愛国サービスパークは2007年まで世界ラリー選手権(WRC)ラリージャパンのサービスパークとして使用されていた場所です。北愛国サービスパーク、陸別リモートサービス及び帯広から見た幕別町の位置については付則Bの地図をご参照ください。



2.3 メディア事務局

メディアオフィサー:	天野 克彦
国内メディアオフィサー:	加藤 和由
住所:	RALLY HOKKAIDO大会事務局 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル
Tel:	011-864-1101
Fax:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

メディアに関する詳細につきましては、セクション11をご参照ください。

2.4 主要競技役員とその役職およびE-mailアドレス

	田畑 邦博 大会組織委員会委員長 tabata-p@rally-hokkaido.com 011-864-2003 言語: 日本語		槇田 龍史 競技長 makita@rally-hokkaido.com 090-3117-4789 言語: 日本語
	Mr. Dmitry (Dima) KRIVTSOV 副競技長 dima@rally-hokkaido.com 090-2077-6302 言語: ロシア語、英語、日本語		須藤 憲光 大会事務局長 sudo@rally-hokkaido.com 090-3772-6253 言語: 日本語
	米澤 章 救急委員長 yonezawa@rally-hokkaido.com 090-3110-0896 言語: 日本語		石川 和男 技術委員長 cswxt639@yahoo.co.jp 090-3111-9306 言語: 日本語
	天野 克彦 国内メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com 言語: 日本語、英語		加藤 和由 国内メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com 090-3390-7650 言語: 日本語
	高嶋 伸后 イベントセクレタリー takashima@planning-for.co.jp 090-1340-9989 言語: 日本語、英語		永田 剛 広報マネージャー nagata@planning-for.co.jp 090-1649-0204 言語: 日本語、英語
	田畑 三枝子 オフィシャルコーディネーター tabata-m@planning-for.co.jp 011-864-2003 言語: 日本語		新井野 美恵子 イベントアカウンタント niino@planning-for.co.jp 011-864-2003 言語: 日本語、英語

3 プログラムと期日

3.1 イベント前スケジュール

3月27日 土曜日

10時00分	特別規則書の発行	大会事務局
10時00分	エントリー受付開始	大会事務局
10時00分	メディア登録申請開始	大会事務局

4月28日 水曜日

10時00分	ラリーガイド2の発行	大会事務局
18時00分	備品およびパスの追加注文締切	大会事務局
18時00分	エントリー締切	大会事務局
18時00分	フレキシサービス登録締切	大会事務局
18時00分	ヘリコプター登録締切	大会事務局

5月6日 木曜日

18時00分	ポンプ燃料発注締切日	大会事務局
18時00分	コ・ドライバーの詳細の登録締切	大会事務局
18時00分	メディア登録申請締切	大会事務局

5月13日 木曜日

10時00分	シードエントリーリストの発行	www.rally-hokkaido.com
18時00分	サービスパークレイアウトおよびサービススペースの公示	大会事務局

5月15日 土曜日

10時00分	ロードブックおよびルートマップの発行	大会事務局
--------	--------------------	-------

3.2 イベント中のスケジュール

5月17日 月曜日

09時00分	各チームへのサービスパークオープンおよびコンテナ搬入	北愛国サービスパーク
--------	----------------------------	------------

5月18日 火曜日

13時00分	ラリーHQ開設	グランヴィリオホテル
13時00分-19時00分	ラリーHQ開設時間	ラリーHQ
13時00分-19時00分	参加確認(サービス受付、レッキ受付を含む)	ラリーHQ

5月19日 水曜日

09時00分-21時00分	ラリーHQ開設時間	
09時00分-21時00分	参加確認(サービス受付、レッキ受付を含む)	ラリーHQ
13時00分-21時00分	メディアセンター開設時間	
13時00分	メディア受付開始	メディアセンター
14時00分	レッキ開始 (APRC・アジアカップ 参加者のみ)	レッキスケジュール参照
18時00分	車検スケジュールの公示	公式掲示板

5月20日 木曜日

07時00分-19時00分	ラリーHQ開設時間	
07時00分-19時00分	メディアセンター開設時間	
07時00分-19時00分	レッキ	レッキスケジュール参照
09時00分-19時00分	車検・マーキングおよびシーリング	スーパーピット中央店

5月21日 金曜日

06時00分-22時00分	ラリーHQ開設時間	
06時00分-22時00分	メディアセンター開設時間	
06時00分-	レッキ(全日本ラリー選手権参加者)	レッキスケジュール参照
09時00分-13時00分	車検・マーキングおよびシーリング	スーパーピット中央店
10時00分-12時00分	シェイクダウン	OBIHIRO SSS
13時00分	第1回大会審査委員会	審査委員会室
14時00分	プレメディアコンファレンス	メディアセンター
14時30分	Day 1スタートリストの公示	公式掲示板
16時30分	ラリーショー	北愛国サービスパーク
18時00分	セレモニアルスタート	北愛国サービスパーク
18時47分	Day 1Aスタート	北愛国サービスパーク

5月22日 土曜日

05時30分-23時00分	ラリーHQ開設時間	
05時30分-23時00分	メディアセンター開設時間	
06時00分	Day 1Bスタート	北愛国サービスパーク
22時00分	Day 2スタートリストの公示	公式掲示板

5月23日 日曜日

05時00分-20時00分	ラリーHQ開設時間	
05時00分-22時00分	メディアセンター開設時間	
05時35分	Day 2スタート	北愛国サービスパーク
16時40分	表彰式	北愛国サービスパーク
17時20分	再車検	スーパーピット中央店
17時40分	ファイナルメディアコンファレンス	メディアセンター
19時15分	全日本ラリー選手権暫定結果公示	公式掲示板
19時50分	暫定結果公示	公式掲示板
19時50分	全日本ラリー選手権表彰式	グランヴィリオホテル

5月24日 月曜日

09時00分-12時00分	ラリーHQ開設時間	
09時00分-12時00分	メディアセンター開設時間	
10時00分	リザルトブック発行	ラリーHQ
12時00分	ラリーHQ、メディアセンター閉設	

4 エントリー

4.1 FIAタイトル

2010 FIA Asia-Pacific Rally Championship for Drivers and Co-drivers
2010 FIA Asia-Pacific Rally Cup for Manufacturers
2010 FIA Asia Cup
2010 FIA Asia Pacific Rally Cup for Drivers, Co-drivers and Manufacturers of Group 2 litre 2WD normally aspirated 2 Litre Cars

4.1.1 JAFタイトル

全日本ラリー選手権

4.2 エントリー受理基準

APRC及びアジアカップ参加選手としてラリー北海道にエントリーするためには、エントラント、ドライバーおよびコ・ドライバーは、それぞれ必要な国際競技ライセンスを所持していなければなりません。海外で発給されたライセンスの保持者は、その国のASNからの許可証を受け取るか、エントリーフォームに確認印を得なければなりません。

APRCと全日本ラリー選手権のエントリーの上限は、合計で90台です。それ以上のエントリーがあった場合、オーガナイザーが選考の権利を有します。APRC及びアジアカップ登録選手はエントリーが保証されます。

ドライバーと参加者が同一であっても、「競技運転者ライセンス」の他に、「参加者ライセンス」が必要になります。

4.3 エントリーフィー (エントリーフィーの支払方法)

アジア・パシフィックラリー選手権及びアジアカップ

オーガナイザーによって提示された任意の広告をつけた場合 250,000円

オーガナイザーによって提示された任意の広告無しの場合 350,000円

全日本ラリー選手権 230,000円

全日本ラリー選手権外オープンクラス 150,000円

エントリーフィーおよびその他の登録料は、以下の銀行口座にお振込みください。

銀行名:	北海道銀行	口座名義:	株式会社 プランニング.フォー
支店名:	流通センター前	口座番号:	0645356
Swift Code:	HKDBJPJT		

4.4 パスおよび書類の追加注文

追加のパスおよび書類は、付則Dにあります「エントリーブックレット」を使用してご注文ください。

5 サービスパーク

5.1 サービスパークについて

サービスパークは2箇所、帯広市愛国町の北愛国交流広場及び陸別町の陸別サーキット隣接エリア設置されます。

北愛国サービスパークの路面はグラベル及びターマック、陸別リモートサービスはグラベルです。

北愛国サービスパークの開設は5月17日(月)9時00分です。管理は5月20日(木)から行います。

参加者は、北愛国サービスパーク及び陸別リモートサービスの指定エリア内に限り、Auxiliary Vehicles(補助車両)を駐車することができます。それ以外の車両は、サービスパークに隣接している特殊車両用駐車場に駐車しなければなりません。1参加者につき2枚のサービス車両プレートが支給されます。追加の補助車両用プレートは10,000円で注文することができます。

APRC、アジアカップおよび全日本ラリー選手権に参加するクルー全員がフレキシサービスを受けることができます。フレキシサービスを希望する場合は、エントリーブックレット(付則D)のセクションB.3にご記入の上競技会事務局までお申込みください。

6 無線

6.1 申請の手順

日本での無線の使用は、厳しく規制されています。無線装置の使用を希望する方は、遅くとも大会3ヶ月前までに、当該装置の使用周波数、型番およびトランスミッション出力等の必要事項を詳細に付則Dのエントリーブックレットにある該当セクションに記入し、大会事務局までお知らせください。また、無線装置の周波数、トランスミッション出力によっては日本では使用できないものがあります。

7 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

7.1 日本の法律／通関手続き

日本国内での輸送にはかなりの費用がかかりますので、開催場所から最も近い苫小牧港まで海上輸送を利用することをおすすめします。海外からの持ち込み品については税関手続きが必要になります。苫小牧港からサービスパークまでのコンテナ輸送には、約3時間かかります。

通関手続きに必要な書類と注意点などは下記の通り；

(1) FIAカルネ

FIAカルネはラリーカー、レッキ車両、サービス車両などの海外で登録された車両が日本国内を走行する時に必ず必要になります。このカルネは当該車両登録国のASNから発行されます。なお、FIAカルネで通関をする際には、JAFが発行するカルネの証明書が必要になります。この証明書の取得については、オーガナイザーにお問合せ下さい。なお、カルネとこの証明書は、当該車両を使用中に警察などから提示を求められる場合があります。いつでも提示できるよう用意しておいて下さい。また、当該車両の登録国を問わず、公道を走る全ての車両は自賠責保険に加入してはなりません。

注意：ジュネーブ条約（ジュネーブで1949年に締結された「道路交通に関する条約」）国以外の国から車両を輸入する場合は、例えばFIAカルネを取得していても、日本に到着した時点で車検、及び日本国内での登録が必要になります。この車検と登録には時間と費用がかかります。

* カルネ名義人以外の方が当該車両を使用する場合は、前もって日本での通関時に所定の申請書による届出が必要です。

(2) ATAカルネ

ATAカルネは機材、部品、タイヤ、及び販促アイテムを持ち込む時、必要になります。ATAカルネで輸入された全ての品目はラリー後再輸出される必要があります。禁制品は例え一時的であっても輸入することは出来ません。

(3) PRO FORMA INVOICE

PRO FORMA INVOICEの使用に関しては、オーガナイザーもしくは個々の輸送会社にお尋ね下さい。

高圧ガスシリンダーなどの危険物や医療品の輸入に必要な特別認可を受ける際に、上記の書類提出が求められます。これらの輸入に関しては、各自で手続きをする必要があります。

車両及びその他の機材を輸入する方は、下記にありますラリー北海道オフィシャルフォワードーにお尋ね下さい。

株式会社栗林商会 苫小牧支社
053-0005 苫小牧市元中野町2丁目13-16
Tel: 0144-32-5161
担当者/メールアドレス

Fax: 0144-36-6839
河野 純吾: kouno@kurinet.co.jp
小林 克之: kat-kobayashi@kurinet.co.jp

7.2 車両に係る規制（運転免許証含む）

ラリー北海道に参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならず、国際モータースポーツ競技規則則J項あるいはJAF国内競技車両規則（ライトポット、排気音量、etc）に合致していなければなりません。

日本で登録されていない車両は、以下の (a) (b) の書類が必要であり、車両に搭載しておかなければなりません。(c) は競技車両用にお勧めします。

- (a) JAFから発行され、オーガナイザーから配布されたカルネの証明書類(翻訳されたもの)。この書類は車両の一時輸入を許可する効力があります。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれていますが、ラリーカー以外の車両に関しては、手数料がかかります。
- (b) 自賠責保険の加入。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれています。ラリーカー以外の日本で登録されていない車両に関しては、約6,000円で加入することができます。
- (c) ラリー保険。ラリーカーやレッキカーに対しこの保険をかけることをお奨めします。この保険には第三者賠償責任保険も含まれ、保険料はエンジンの大きさによりますが、約20,000円です。

当ガイド付則Dのエントリーブックレットに、車両の輸入に関するセクションがあります。上記の(b)と(c)の書類には、車両について詳細にご記入ください。

7.3 日本国内を運転する際の条件

海外から入国する者が日本国内で運転する為には日本の運転免許証、もしくは公道を運転するのに有効な国際免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は1949年に締結されたジュネーブ条約下で発効されたもののみが有効で、免許証の表紙にその事が明記されていなくてはなりません。詳細に関してはオーガナイザーにお問合せ下さい。

ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー及び台湾で発行された免許証を所持している者はJAFによる翻訳が必要になります。この翻訳した物と免許証を同時に携帯することで、ジュネーブ条約下で発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。上記以外の免許証を所持している者は、実技試験を受けるかもしくは外免切替を求められます。

外免切替の詳細についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。: <http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

7.4 交通法規の違い

<日本語版では省略します>

Rally 21-23 May 2010 **Hokkaido**



8 ヘリコプター

8.1 登録申請手続き／インフォメーション

ラリーのサポートを目的としたヘリコプターを使用する場合は、オーガナイザーに登録しなければなりません。ラリーコースの領空は航空法により管理され、許可された航空機のみがこの領空内を飛行することができます。ヘリコプターの登録申請には登録料がかかります。スペシャルステージやサービスパークを含め、着陸地点およびGPSポイントの一覧表は後日お知らせします。パイロットは全員、パイロットブリーフィングに出席しなければなりません。

8.2 国内ヘリコプター会社の連絡先

会社名	朝日航洋株式会社	北海道航空株式会社
Tel:	011-782-0603	011-781-1247
Fax:	011-783 5286	011-780-2711
担当者:	小澤	奥山
ウェブサイト:	www.aeroasahi.co.jp	www.hokkaido-koku.co.jp

9 ホスピタリティーの手配

9.1 ホスピタリティー担当者／会社

コーポレートホスピタリティーについては、下記の担当者にお問合せください。

担当:	高嶋 伸后
Tel:	011-864-1101
Fax:	011-864-1182
Eメール:	takashima@planning-for.co.jp

10 ホテル／宿泊施設の予約について

10.1 予約に関するお問合せ

以下の2軒のホテルと適切な金額で宿泊できるよう交渉し、一括予約いたしました。宿泊予約をする際は、付則Dの申込書にご記入の上、ラリー事務局まで返送してください。

ドライバーおよびコ・ドライバーのホテル宿泊料金は、コンペティターのエントリーフィーに含まれています。それぞれの宿泊日数は、APRC及びアジアカップ参加選手の場合は2泊(5月21日〔金〕～22日〔土〕)、JRC参加選手の場合は1泊(5月22日〔土〕)となっています。以下のホテルにてツインルーム使用となります。ホテルの決定はオーガナイザーが行います。チーム員との相部屋をご希望の方は、和室(5名まで利用可)をご用意できます。また、3名で和室をご利用の場合は6,000円(1泊につき)の追加料金、4名以上でご利用の場合は5,000円(1泊1名につき)の追加料金となります。

宿泊予約申込書にご希望の部屋についてご記入ください。

十勝幕別温泉グランヴィリオホテル	
住所: 幕別町依田384	ツイン(シングル利用:少数): 9,500円
TEL: 0155-56-2121	ツイン(少数): 15,000円
FAX: 0155-56-6011	和室(シングル利用): 12,000円
言語: 日本語/英語/中国語	和室(2名利用): 16,000円
駐車場: 無料	和室(3名利用): 18,000円
Web: http://www.route-inn.co.jp/frame/fmakubetsu.htm	和室(4-5名利用): 1名につき5,000円
※ 朝食を付けない場合は500円引き	
温泉リゾートホテル。洋室と和室があり、2003年にラリー北海道のHQとして使用され、2008年から再びラリーHQとして使用されるようになりました。帯広の東、高台の上にあり、市内を見下ろすことができます。JR帯広駅、繁華街より車で15分。ほとんどの部屋は和室です。	
ホテルルートイン帯広	
住所: 帯広市西3条南11丁目	シングル: 6,300円
TEL: 0155-28-7200	※ 朝食込(食べなくても返金なし)
言語: 日本語のみ	
駐車場: 500円	
Web: http://www.route-inn.co.jp/frame/fobihiro.htm	
帯広市内の比較的新しいビジネスホテルです。JR帯広駅より徒歩数分。	

帯広市街および付近には多くのホテルがあります。インターネットで検索する場合には、「帯広」、「十勝川」と入力してみてください。また、帯広市内のホテルは、下記のウェブサイトもご参照ください。

<http://www.obihiro-yado.com/English/european.html>

ホテルとの連絡が困難な場合、あるいはオーガナイザーに宿泊予約の協力を希望する場合、大会事務局にお問合せください。

11 メディア

11.1 メディアの連絡先と担当者

各メディアオフィサーに申請方法やメディア設備についてお問合せください。

メディアオフィサー:	天野 克彦
国内メディアオフィサー:	加藤 和由
住所:	RALLY HOKKAIDO大会事務局 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル
Tel:	011-864-1101
Fax:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

11.2 メディア申請の手順と締切り

ラリー北海道で取材を行なう各媒体は、メディア登録が必要となります。メディア申請書と添付する各書類の説明は、ラリー北海道公式ウェブサイトwww.rally-hokkaido.comのメディアに掲載されています。書類に不備がないかをご確認の上、メディア申請書と全ての添付書類を締切日5月6日木曜日18:00(必着)までに、上記の宛先に送付してください。疑問や質問がありましたら、加藤までお問合せ下さい。

締切日: 5月6日 木曜日18:00 必着

12 総合案内

12.1 概要

空港: とかち帯広空港に日本航空が運行しています。東京・羽田空港から毎日4往復、名古屋・小牧空港から毎日1往復、大阪・関西空港との便は2010年は就航していません。空港から帯広市街への移動にはシャトルバス(1,000円)があり、所要時間は約40分です。また、タクシー・レンタカーも空港ですぐに手配できます。

鉄道: 帯広駅にJR北海道の特急列車が運行されています。所要時間は札幌駅から約2時間20分。新千歳空港から約2時間10分。

現金: <日本語版では省略します>

通貨: <日本語版では省略します>

標高: サービスパーク:40m リクベツリモートサービス:217m
スペシャルステージの平均:362m

電気: <日本語版では省略します>

大使館・領事館: <日本語版では省略します>

国際電話: <日本語版では省略します>

携帯電話: <日本語版では省略します>

営業時間: <日本語版では省略します>

人口: <日本語版では省略します>

祝日: <日本語版では省略します>

降雨量 (5月平均:帯広) 80.1mm

日の出 (5月21日)03時59分
(情報: <http://www.nao.ac.jp/> 国立天文台)

日の入 (5月21日)18時49分
(情報: <http://www.nao.ac.jp/> 国立天文台)

税金: <日本語版では省略します>

気温 (5月21日) 最高気温:18.3℃
平均気温:11.7℃ 最低気温:6.1℃

時間帯: <日本語版では省略します>

チップ <日本語版では省略します>

ビザ/査証: <日本語版では省略します>

水:

通常の水道水は飲むことができます。ホテルの中にはリサイクル・ウォーターを使用しているところもありますが、その場合はその旨明記されています。

12.2 電話

携帯電話

日本の携帯電話のネットワークは独特のため、世界で一般的なGSM方式の携帯電話は日本国内では使用できません。

一部ローミングサービスによって使用できる場合もありますが、ご自身の携帯電話の機種および契約会社について事前にご確認下さい。

■空港でのレンタル及びローミングサービス

NTT-DOCOMO

日本語サイト

<http://roaming.nttdocomo.co.jp/jp/>

英語サイト

<http://roaming.nttdocomo.co.jp/en/>

SoftBank Global Rental

日本語サイト

<http://www.softbank-rental.jp/inbound/>

英語サイト

<http://www.softbank-rental.jp/en/>

JAL-ABC

日本語サイト

http://www.jalabc.com/rental/domestic_jp/

英語サイト

http://www.jalabc.com/rental/domestic_eng/

■プリペイド式携帯電話

コンビニエンスストアにてプリペイド式携帯電話機とテレフォンカードを購入できます。しかしながら携帯電話不正利用防止法の制定により新規購入の手続きが厳しくなっています。日本の運転免許書などの提示が必要になります。

ご利用には事前に詳しくお調べください。

SoftBank: プリモバイル

日本語サイト

<http://mb.softbank.jp/mb/premobile/>

英語サイト

http://mb.softbank.jp/en/prepaid_service/

帯広市での携帯電話機のレンタルについてオーガナイザーにお問い合わせ下さい。ラリーガイド2で詳細をご案内いたします。

公衆電話

<日本語版では省略します>

インターネット接続

<日本語版では省略します>

12.3 運転および運転免許証

<日本語版では省略します>

12.4 銀行／クレジットカード／現金

<日本語版では省略します>

12.5 帯広へのアクセス

サービスパークとHQが設置される帯広市への行き方は以下の通りです。

東京／成田空港から羽田空港へ：

成田国際空港から羽田空港までのエアポートリムジンバスが利用できます。運賃は3,000円です。

羽田空港で日本航空へ乗り継ぐ場合は、第1ターミナルで降りてください。

東京／羽田空港からとちかち帯広空港へ：

羽田空港からは日本航空がとちかち帯広空港へ毎日4便運行しています。日本航空は第1ターミナルです。

名古屋／小牧空港からとちかち帯広空港へ：

小牧空港からは日本航空がとちかち帯広空港へ毎日1便運行しています。

札幌／新千歳空港からJR帯広駅へ：

列車でお越しの方は、新千歳空港から約3分後の南千歳駅で特急に乗り換えて、帯広駅で下車してください。運賃(片道)は約6,000円です。

札幌／新千歳空港から車で帯広へ：

車でお越しの方は、高速道路の千歳ICから帯広行きの表示に従ってください。高速道路は帯広まで全線開通していませんが便利です。北愛国サービスパークに最寄りのICは帯広川西ICです。

とちかち帯広空港から帯広市内へ：

到着便および出発便に合わせて、空港と帯広市内のホテルを結ぶシャトルバス(運賃：1,000円)が運行しています。タクシーやレンタカーも空港で手配することができます。所要時間は約40分です。

帯広から幕別HQへ：

HQが設置される十勝幕別温泉グランヴィリオホテルへはJR帯広駅より車で20分、とちかち帯広空港から車で40分です。

12.6 緊急時のサービス

緊急時の連絡先は以下のとおりです。

火事および救急車	119
警察	110

北愛国サービスパークに最寄りの病院は、北斗病院です。

北斗病院	http://www.hokuto7.or.jp/
Tel: 0155-48-8000	帯広市稲田町基線7番地5

夜間・休日に開業している病院は、北海道救急医療情報センターに照会して下さい。

北海道救急医療情報センター	http://www.qq.pref.hokkaido.jp
フリーダイヤル: 0120-20-8699	携帯電話・PHS: 011-221-8699

薬局と歯科医院は12.7のビジネスディレクトリーに掲載されています。

12.7 ビジネスディレクトリー

航空会社	所在地	電話番号	フリーダイヤル
日本航空(JAL)国内線	東京	03-5460-0522	0120-25-5971
日本航空(JAL)国際線	東京	03-5460-0511	0120-25-5931
全日空(ANA)国内線	東京	03-6741-8800	0120-029-222
全日空(ANA)国際線	東京	03-6741-6685	0120-029-333
エールフランス航空	東京	03-3570-8577	-
エア・インディア	東京	03-3508-0261	-
ニュージーランド航空	東京	03-5521-2727	0120-300-747
アリタリア航空	東京	03-5166-9111	-
アメリカン航空	東京	03-4550-2111	0120-000-860
ブリティッシュエアウエイズ	東京	03-3570-8657	-
キャセイパシフィック航空	東京	03-5159-1700	-
フィンランド航空	東京	03-3222-6992	0120-700-915
ルフトハンザドイツ航空	成田	0476-34-8134	0120-051-844
マレーシア航空	東京	03-5733-2111	-
カンタス航空	東京	03-3593-7000	0120-207-020
スカンジナビア航空	東京	03-5400-2331	-
シンガポール航空	東京	03-3213-3431	-
タイ国際航空	東京	03-3503-3311	-
ユナイテッド航空	東京	03-3817-4411	0120-114-466
ヴァージンアトランティック航空	東京	03-3499-8811	-
金融機関/ATM/両替	ATM営業時間		
帯広郵便局ATM	帯広市西3条南8丁目	月曜日-金曜日: 土曜日-日曜日:	08:45-19:00 09:00-17:00
JR帯広駅内ATM	JR帯広駅	月曜日-金曜日:	09:00-19:00
帯広長崎屋内郵便局ATM	帯広市西2条南13丁目 JR帯広駅南側	土曜日-日曜日: 月曜日-金曜日:	09:00-17:00 09:00-19:00
北海道銀行帯広支店ATM	帯広市西4条南12丁目	土曜日: 日曜日:	09:00-17:00 休業
北洋銀行帯広中央支店ATM	帯広市西3条南9丁目	月曜日-金曜日: 土曜日: 日曜日:	08:45-19:00 09:00-18:00 09:00-17:00
北洋銀行帯広中央支店ATM	帯広市西3条南9丁目	月曜日-金曜日: 土曜日-日曜日:	08:45-19:00 09:00-18:00
バス			
北海道拓殖バス	音更町然別北5線西37	0155-31-8811	
十勝バス	帯広市西23条北1丁目	0155-37-6500	
帯広駅バス待合所	帯広駅バスターミナル	0155-23-5171	
毎日交通(貸切バス)	川西町基線24-11	0155-59-2201	
トランスポーター/レッカー	フリーダイヤル		
ランドマーク33	帯広市西2条南33丁目	0155-48-4616	0120-747-110
尾畑商会	帯広市西20条北2丁目	0155-33-3900	0120-494-988
前田自動車工業	本別町	01562-2-3002	
ボディショップ国井	足寄町	01562-5-4607	
松井商会	土幌町	01557-6-2153	
お弁当(ケータリング)			
梅屋	帯広市西4条南17丁目	0155-27-1241	
すずらん	帯広市西南2丁目	0155-22-2782	
つぼかわ	帯広市東2条南15丁目	0155-25-6655	
すだや	帯広市柏林台北町1丁目	0155-34-5010	

フーズジャパン	帯広市西18条南4丁目	0155-38-3021	
コンピューター修理サービス			
パソコンランド帯広	帯広市東2条南19丁目	0155-24-4648	www.znet.co.jp
Byte In	帯広市東1条南13丁目	0155-22-7003	
曾我	帯広市南町東1条南16	0155-47-2111	
コンビニエンスストア			
帯広市街及び周辺には、ローソン、セブンイレブン、セイコーマートといったコンビニエンスストアが多くあります。ほとんどの店は24時間営業で、店内には銀行ATM、コピー機が設置されています。			
カーディーラー			
帯広三菱自動車本店	帯広市大通南23丁目	0155-24-1115	
帯広スバル自動車	帯広市西13条北1丁目	0155-36-1251	
スズキアリーナ帯広	帯広市大通南5丁目	0155-28-2525	
道東ダイハツ販売 帯広店	帯広市西16条北1丁目	0155-34-5562	
ホンダカーズ帯広 札内店	幕別町札内共栄町176	0155-22-1011	
ホンダカーズ帯広北 西17条店	帯広市西17条北1	0155-35-2505	
帯広日産自動車 本店	帯広市大通南26丁目	0155-23-4123	
釧路トヨタ 音更店	帯広市大通南18丁目	0155-31-4181	
帯広トヨペット 本店	帯広市大通南6丁目17	0155-24-4167	
トヨタカローラ帯広 本店	帯広市大通南2	0155-25-5121	
ネットトヨタ帯広 アベニュー店	帯広市大通南18	0155-24-3161	
ダイヤスターインターナショナル	帯広市大通南23	0155-24-1115	VOLVO
フォード北海道 帯広店	帯広市西20条北1丁目	0155-33-1251	北海自動車工業
歯科医院			
つがやす歯科医院	帯広市西10条南9丁目	0155-21-2002	
十勝歯科保健センター	帯広市東7条南9丁目	0155-25-2172	時間外緊急治療のみ
デパート			
			営業時間
藤丸	帯広市西2条南8丁目	0155-24-2101	10:00-19:00
長崎屋	帯広市西4条南12丁目	0155-25-3810	10:00-20:00
イトーヨーカドー	帯広市稲田町南8線西10	0155-47-8111	09:00-21:00
家電量販店			
ヤマダ電機 帯広店	帯広市西13条北1丁目	0155-58-4080	
100満ポルト フレスポ本店	帯広市稲田町南9	0155-48-3939	
ハラデンキ 本店	帯広市大通南12丁目	0155-22-5522	
設備レンタル			
			FAX
共成レンテム 帯広営業所	帯広市西18条北1丁目	0155-33-2211	0155-33-8209
カナモト 帯広営業所	芽室町東芽室基線8	0155-61-2332	0155-61-2312
ナラサキリース 帯広営業所	幕別町字札内みずほ町326	0155-56-3221	0155-56-5002
レントオール帯広	音更町木野大通東1		0155-31-7598
消火器/消防用設備・用品			
総合防災	帯広市西11条南2丁目	0155-34-1364	販売
ヤマト商会	帯広市東10条南7丁目	0155-22-2128	販売
イベント、会合、パーティー会場			
北海道ホテル	帯広市西7条南19丁目	0155-21-0001	
十勝幕別温泉グランヴィリオホテル	幕別町字依田384	0155-56-2121	ルートインSpa
ホテル日航ノースランド帯広	帯広市西12条南13丁目	0155-24-1234	JR北海道ホテルズ
十勝ビール	帯広市西1条南9丁目6	0155-26-4141	カジュアルレストラン
ハードウェアストア/DIY/大型ディスカウントストア			
ホームマック スーパーデポ	帯広市稲田町南9線西9	0155-49-1101	
ドライクリーニング及びコインランドリー			
エンパイアークリーニング	帯広市西4条南12丁目	0155-21-7740	長崎屋内

鍵屋			
ロックサービスかぎ屋	帯広市西2条南16丁目	0155-23-6969	09:00-20:00
		090-8636-2066	24時間受付
コアロック 本店	帯広市西5条南15丁目	0155-25-2584	
		090-3392-4066	24時間受付
地図/書店			
TSUTAYA 帯広大通店	帯広市大通南14丁目22	0155-28-3728	
宮脇書店 帯広店	帯広市西8条南17	0155-20-6211	
ザ・本屋さん WOW店	帯広市西4条南29丁目	0155-28-2111	
窒素・酸素ボンベ			
北海道エア・ウォーター	帯広市西22条南1丁目	0155-37-1181	帯広産業営業所
薬局			
ツルハドラッグ 帯広南店	帯広市西5条18丁目3	0155-20-3533	
稲田店	帯広市稲田町南9線西9	0155-49-2066	
札内店	幕別町札内共栄町163	0155-20-3825	
カイロプラクティック/クリニック			
タカハシスポーツ整体院	帯広市南町東1-5	0155-48-3839	
安治整体療術院	帯広市西2条南4丁目	0155-25-4678	
せきぐち治療院	帯広市東3条南9丁目	0155-23-5783	マッサージのみ
衛星電話レンタル			
北海道モバイルレンタルセンター	札幌市中央区北1条東1丁目4	011-207-0115	ドコモ・センソウ
警備会社			
三和警備	帯広市西5条北2丁目	0155-22-0511	
看板/シートカットイング			
ワタナベエ芸	音更町新通9丁目1	0155-42-2441	
ノブ	帯広市大通南4丁目14	0155-22-6918	
アートスペース	帯広市東1条南9丁目3	0155-23-3900	
中島自エデコラ事業部	帯広市西20条北1丁目3	0155-33-3141	
エポック	帯広市西8条北1丁目	0155-28-5006	
フジ工房	帯広市大通南26丁目	0155-22-6880	
スーパーマーケット			営業時間
長崎屋 帯広店	帯広市西4条南12丁目	0155-25-3810	10:00-20:00/21:00
ポスフル 帯広店	帯広市西4条南20丁目1	0155-24-3100	09:00-21:00
ダイイチ 東店	帯広市東4条南12丁目1	0155-23-8448	10:00-22:00
プラザいちまる	帯広市西5条南35丁目	0155-47-0100	09:00-21:45
ぴあざフクハラ 西18条店	帯広市西18条北1丁目30	0155-38-3066	24時間営業
タクシー会社			車両保有台数
音更タクシー	音更町大通1丁目2	0155-42-2012	12
大一ハイヤー	帯広市西9条南10丁目	0155-21-6151	59
日の丸交通	帯広市西19条南1丁目	0155-36-5111	55
まりもハイヤー	帯広市大通南17丁目	0155-23-8181	53
帯広ハイヤー	帯広市西19条南1丁目	0155-33-8844	51
中央タクシー	帯広市西7条南4丁目	0155-23-4141	541
東洋タクシー	帯広市西18条南2丁目	0155-33-3939	39
十勝観光ハイヤー	帯広市西19条南1丁目	0155-33-9595	35
個人タクシー協会	帯広市西9条南34丁目	0155-48-5141	83
タイヤ			
ピレリ	東京	03-5575-2200	
北海道ヨコハマタイヤ販売	帯広市西13条北3丁目	0155-35-3544	
ダンロップファルケン北海道	帯広市西19条南1丁目	0155-41-2431	
ブリヂストンタイヤ北海道販売	帯広市西2条北2丁目	0155-27-7777	

洗車			
リニューカーショップ ガソリンスタンド	帯広市東9条南5丁目 洗車及びバキューム設備あり	0155-23-7741	フルサービス洗車
板金修理			
帯広地方自動車整備振興会	帯広市西19条北1丁目	0155-33-3166	角張常務
車関連—スペアパーツ、バッテリー、蒸留水、オイル&その他			
ホームックス—パーデポ	帯広市稲田町南9線西9	0155-49-1101	
イエローハット	帯広市西5条南16丁目	0155-26-1680	
オートバックス	帯広市西6条北1丁目	0155-23-5500	
SKスポーツ	帯広市西22条南4丁目33-9	0155-41-1151	
溶接			
帯広地方自動車整備振興会	帯広市西19条北1丁目	0155-33-3166	角張常務
フロントガラス			
十勝ガラス	帯広市西4条南1丁目	0155-22-6161	
北硝子	帯広市西6条北1丁目	0155-24-3246	
オフィシャルレンタカー会社			

ラリー北海道のオフィシャルレンタカー会社は、ニッポンレンタカーです。下記が問い合わせ先です。申込書は付則をご覧ください。車両およびレンタル料金の詳細につきましては、ニッポンレンタカーまでお問い合わせください。

本書所定用紙をご使用の方には、特別優待料金をご用意しております。

ニッポンレンタカーの英語版サイトは、下記のURLです。

<http://www.nipponrentacar.co.jp/english/>

海外からの予約 ニッポンレンタカー English Service Desk: Tel: +81-3-3485-7196 (月-金:9時-18時) E-mail: intlrrs@nipponrentacar.co.jp	国内(北海道)の予約 ニッポンレンタカー北海道(株) 予約センター Tel: 011-805-0921 (9時-18時) Fax: 011-805-0920 E-mail: nrhirc@nrh.co.jp
--	--

公式予約サイト	http://www.nrh.co.jp/
とちち帯広空港店	0155-64-5065
帯広駅前店	0155-22-0919
千歳空港	0123-26-0919

Rally 21-23 May 2010 **Hokkaido**

